

# 神奈川畜産情報

発行所  
神奈川県畜産会  
横浜市磯子区西町14-3  
畜産センター内  
電話 045 (761) 4191  
FAX 045 (759) 1162  
発行人  
平本 光 男

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！  
配信の内容：総集編、思いが深く畜産の未来へ明るい未来へ向け  
て畜産DXの取り組み、乳用牛改良の取り組み、地  
域ぐるみで畜産飼料生産！ほか

スマートフォンからはこちら  
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

隔月1回（1日）発行  
〔神奈川畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ  
「かながわ畜産ひろば」〔<http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>〕

**県産生乳 100%**

**1 ミルクスタンド（チャリティ）**

① 10:00  
② 11:30  
③ 13:00  
④ 14:30  
①～③ 先着150名、  
④ 先着50名、合計200名

・1回100円以上のチャリティです。  
・県産生乳100%牛乳と平塚産いちご  
（県産いちご狩りセンター提供）を味わえます。

**2 県内農業高校のコーナー**

10:00  
15:00

**3 カナミルクと一緒に写真を撮ろう**

① 10:00  
② 11:00  
③ 13:00  
④ 14:00

**4 模擬牛で乳しぼり体験**

10:00～15:00 押ってみてモ～！

**5 チャリティたまごくじ**

① 11:00 ② 13:30  
（各回先着125名、合計250名）

・1回100円以上のチャリティです  
・ガラポンを1回まわして出てくる  
玉の半で賞品が当たります  
・ハズレなしで必ず必ず当たります

**6 中央農高和太鼓部の演技**

① 11:30 ② 13:30

**7 トラクターの展示**

10:00～15:00

**カナミルクって誰？**

県産生乳100%認定制度キャラクター、  
この制度は、かながわ県内で生産された生乳のみ  
を使用した牛乳、乳製品について、かながわ  
県畜産活性化対策委員会が認定しています。

**牛乳の日ってなに？**

2001年に国際食糧農業機関（FAO）が6月1日を「世界牛  
乳の日（World Milk Day）」とすることを提議しました。  
・2007年に日本酪農乳業協会（Jミルク）が6月1日を  
「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と定めました。

問合せ先 神奈川県畜産協同組合連合会 電話 0463-94-1020

「牛乳の日」に向けて、  
牛乳や酪農を知って、  
体験して、味わおう！

**牛乳の日  
プレイベント**

**会場 In 花菜ガーデン**

**日時**  
2025.3.15（土）  
10:00～15:00

**場所**  
神奈川県立花と緑のふれあいセンター  
花菜ガーデン内  
花菜フォーラム、クラフト実習室およびセンターファールド  
平塚市寺田 496-1  
※アクセスは花菜ガーデンHPをご覧ください

**主催** かながわ酪農活性化対策委員会  
神奈川県畜産協同組合連合会

**後援** 神奈川県立中央農業高等学校  
神奈川県立相模高等学校  
（一社）神奈川県畜産会養鶏部会  
（一社）神奈川県畜産振興会

みんなで来てモ～！

（県畜産課畜産振興グループ 齋藤）

花菜ガーデン HP

畜産課 HP

令和7年6月1日（日）の牛乳の日に向けて、令和7年3月15日（土）に神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン（以下、花菜ガーデン）で、かながわ酪農活性化対策委員会と神奈川県酪農業協同組合連合会が主催し、「牛乳の日プレイベント In 花菜ガーデン」を開催します。このイベントを通じて県民に神奈川県産の酪農や県産の牛乳を知っていただき、牛乳をもっと好きになってもらいいたいとの思いが込められています。

今回は、かながわ県産生乳100%牛乳と平塚産いちご（湘南いちご狩りセンター提供）とのコラボもあります！是非みなさまお越しください。

詳細については花菜ガーデンホームページ、県畜産課ホームページをご覧ください。

牛乳の日プレイベント In  
花菜ガーデンを開催します

## たくさん、畜産、かながわ産。 ～神奈川県畜産業について～

かながわ畜産ブランド推進協議会幹事会ワーキンググループでは県産畜産物のブランド力をさらに向上させるために、「かながわ畜産の日」のPRや各畜種のPR動画の制作を行っています。

今年度の活動では小学生向けの畜産PR動画を作成しました。

動画では県内で営まれている畜産業のうち、酪農、肉牛、養豚、養鶏、養蜂の5つについて、それぞれの生産者から生産過程やこだわりについて解説をしていただきました。子ども



でもわかりやすく楽しめる内容となっており、ぜひ皆様にもご視聴いただき、食育の教材としてご利用いただければ幸いです。

動画は県公式YouTubeチャンネルの「かなチャンネルTV」及び「神奈川県畜産会公式チャンネル」でご視聴いただけます。記載のQRコードから動画をご覧いただけます。

また今回の動画以外にも酪農、養豚、肉牛の動画も公開しております。この機会にぜひともご視聴ください。

（畜産会 藤田）



畜産会公式チャンネル



かなチャンネルTV

### 牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）

～交付状況～

令和六年十月～十二月交付金確定単価（肥育牛二頭当たり）

○肉専用種

十月 一〇二、一七二・五円

十一月 一五、〇八七・六円

十二月 交付なし

○交雑種

十月 三、四七七・六円

十一月 交付なし

十二月 交付なし

○乳用種

十月 四二、五七四・五円

十一月 三九、九〇〇・六円

十二月 四〇、三〇八・三円

次期業務対象年間

今年度は第二業対の最終年度となります。次期業対への移行に伴い加入申込をお願いしました。みなさまからご提出いただいた「要件審査申請書」については、現在、国で審査中です。審査が終わりましたら「肥育牛補填交付契約」の締結手続きを四月上旬に行います。

（畜産会 倉迫）

### 肉用子牛生産者補給金制度

令和六年度第三四半期（六年十月～十二月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種 五二一、九〇〇円

交雑種 三二九、四〇〇円

乳用種 二〇一、三〇〇円

黒毛和種は保証基準価格（五六四、〇〇〇円）を下回りましたのでその

差額、四二、一〇〇円の生産者補給金が交付されることになりました。交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

（畜産会 香取）

広告

## 国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。  
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人  
**中央畜産会**  
TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディー・アイ・ビル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。



## 新たな仲間増えてます！～畜産の担い手の育成～

畜産技術センター普及指導課は、新規就農者の定着と経営発展を支援し、次世代のかながわ農業の中核を担う農業経営者を育成するために、技術レベルや経営発展の段階に応じて継続的な支援を行っています。

今回は、新規就農者への支援活動についてご紹介します。

### 【農業基礎セミナーによる基礎知識の習得（就農5年目までが対象）】

#### 農業基礎セミナー対象者数（ ）内は新規参入

年度	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	計
R4	10(4)	2(2)	1	3(2)	16(8)
R5	8(3)	—	2	4(3)	14(6)
R6	5(3)	—	2	6(5)	13(8)

就農後5年以内の後継者、新規参入を含む新規就農者に対して、農業基礎セミナー（畜産コース：以下セミナー）を開催しています。直近の状況としては、新規参入の対象者が増えています。年度当初のセミナー開講式では、セミナー生は知識の習得や対策に関する「現状チェック表」を作成し、ウィークポイントを明らかにした上で、普及指導員との質疑やセミナー生同士の活発な意見交換を行います。

セミナー期間中は、「現状チェック表」で明らかとなった飼料給与、繁殖技術、自給飼料生産などにおける個別の課題について、定期的に現地指導を行っています。

写真の事例では、乳牛の繁殖成績向上のために個体のBCS（ボディコンディションスコア）を確認しながら現地指導を行いました。



牛舎内で乳牛のBCSを確認しながら現地指導



普及指導員による講習会  
「特殊肥料の生産及び販売の届出について」

セミナー開講式では、1年間の活動を振り返り、技術や知識の習得状況を確認します。「現状チェック表」の採点結果を年度当初と比較し、「出来た点」、「出来なかった点」を各自が発表するとともに、セミナー生同士で意見交換を行います。経営技術のレベルアップに手応えを感じたセミナー生からは「着実に技術が向上している」との発言があり、自分でも成長を感じることができています。

また、開講式・閉講式では集合研修を併せて実施し、これまでに新規就農者に重要と思われる「畜舎の温度管理（夏期、冬期）」、「ふん処理、尿処理等の環境対策」、「特殊肥料の生産及び販売の届出について」など、畜種共通の話題をテーマに取り上げた講習会を開催しました。

セミナー生への巡回指導のほか、先進の事例を学ぶことにより、経営感覚を養い、併せて交流を通じた仲間づくりの機会になるよう、時にはバスツアーで、現地視察による集合研修を開催しています。

写真の視察研修では、新規参入の平飼い養鶏農家が研究施設を視察して、養鶏資材の活用法、ケージ飼育の実際、ウィンドレス鶏舎での点灯管理などの基礎的技術を学習しました。

取組の課題としては、畜産という仕事柄、集合研修へ全員揃っての参加が難しいことがあげられます。

引き続き、個別巡回の指導内容を充実させ、セミナー生の更なる技術レベルの向上を図り、農業を取り巻く厳しい社会情勢にも十分に対応できる足腰の強い農業者となるよう、セミナー生に対する助言・支援を継続していきます。



視察研修（養鶏：研究施設を見学）

（畜産技術センター普及指導課）

## 怖い病気!?ボツリヌス症

我が家の未就学児は牛乳が大好きで、お茶ではなく、牛乳をたくさん飲みます。家の牛乳の消費量は6倍になり、好き嫌いのある未就学児の素晴らしい栄養源として牛、酪農家の皆さま及び牛乳生産に関わられている方々に日々感謝しきりです。

そんな牛の健康を祈るばかりですが、家保では怖い病気を診断することもあります。今も昔も牛の大量死を起こす有名な疾病のひとつである「牛ボツリヌス症」です。本症は県内でも不定期に発生があり、令和5年に

は近畿地方で約1、600頭を飼養する肉用牛農家で、約600頭が死亡する事例もありました。

一般的に細菌の疾病は抗菌薬で治療できることが多いのですが、本症はボツリヌス菌（細菌）

が作る「神経毒素」が原因で、治療法はありません。体温や知覚は正常ですが、後肢から始まる麻痺を起こすことが特徴で、経過が早い時は半日程度で死亡することもあります。人でもボツリヌス毒素は「世界最強の毒素」と呼ばれています。牛で発症する毒素タイ

## 家保だより

プが人で発症することは稀です。

一方、「毒薬変じて薬となる」のとおりに、この毒素は人では治療（ボツリヌス療法）にも使われています。そもそも毒素で牛が死んでしまうのは、神経に作用して筋肉を

麻痺させ（起立不能）、最終的には呼吸機能が麻痺することによる呼吸困難が原因とされています。人では、この毒素による作用を利用して、脳卒中等による手足のつっぱりを軽減させる等の治療に活用されています。

牛ではまだ、有効活用されていない

## ウロウロ争や死者多数 トラぬ狸の皮算用

ロシアがウクライナに軍事進攻して三年になった。ウクライナの軍人、一般人の死者と行方不明者は合わせて一二万にも及ぶ。国際法を犯して攻め込んだロシアも兵士の死者は九万五千人にも及んだ。法や秩序を犯して攻め込んだロシアが悪いとウクライナを支援した米国のバイデンから大統領がトランプに変わったら、いきなりロシア側・プーチン大統領を支持し、ウクライナのゼレンスキー大統領を「独裁者」と非難した。プー

## 新むらすずめ

チンはロシア国内に偽情報を流し続けて真実を隠す。プロパガンダでロシア国民を騙し続けている。プーチンこそ独裁者であろう。トランプはウクライナの地下資源獲得の取引条件が折り合わなかったからといつても、国際法を犯しているロシアの侵略を許してよい訳がない。尊い人命を粗末にしている。気に食わないからと、法を犯してしらを切っているのが日本にも居る。日本学術会議が推奨した会員の六人の任命を拒否したのが二〇二〇（令和二）年、菅義偉総理。その理由を明示しないまま、政府は組織改革法案を通常国会に提出しようとしている。

る。日本学術会議が発足したのは一九四九（昭和二四）年。一九八二（昭和五七）〜六二（昭和八七）年に首相だった中曽根康弘氏は「学術会議の推薦者を首相が任命するのは極めて形式的なことで、拒否することはない。大臣を天皇陛下が任命するのと同じこと。」と明確に答弁していた。

科学者の知的好奇心が自由に羽ばたけるように、国の方針に左右されることが無いように、学術会議発足時の原点に帰って政府は任命拒否の理由を開示すべきである。

ウロウロ戦争も国際法に則ってトラぬ狸の皮算用やプーと嘘ぶくチン問答は終わりにしてくれ!!  
(忠九朗)

地方競馬の収益金は  
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

4月7日(月)~4月11日(金)ナイター  
5月12日(月)~5月16日(金)ナイター

いたため、牛を守るためにはボツリヌス菌を農場に入れないことが重要です。ボツリヌス菌は状態が悪くなった飼料やカラス等の野生鳥獣の糞を媒介して農場に入るため、飼料の管理と野生鳥獣の侵入防止対策が重要です。また、ボツリヌス菌は芽胞というカプセルのような構造を作り、それは熱や消毒等に強く、長い期間休眠状態になるため、完全な除去が難しく、過去に発生が見られた地域では発症予防のためのワクチン接種が重要となります。飼養衛生管理基準の遵守とあわせて対策をよろしく願います。  
(県央家畜保健衛生所 猪瀬 早紀)